

2021年10月13日

上信越ブロック協議会会長 福嶋利行

2021年度 第2回上信越ブロック協議会議事録

日時：2021年9月28日 午後1時00分～3時7分

形式：WEB会議（ZOOM）

出席者：日本代協 雨宮理事

群馬代協 阪本 小井土 中田 中島 森 市村（6）

新潟代協 西 山崎 小林 関川 野澤 神林 恩田（7）

長野代協 福嶋 中澤 駒津 村松 片桐 古瀬 宮澤 山口（8）

事務局 太田 オブザーバー参加： 小田島（新潟）月岡（長野）

各代協参加者 21名

欠席者 4名 石井、近藤（群馬） 小堺（新潟）

桐島（長野 日本代協 CSR 委員会出席のため）

合計 25名

議事録確認者 阪本 善彦（群馬代協会長） 西 勝弘（新潟代協会長）

議事録作成者 太田久行

総合司会 開会宣言：村松常務理事（長野代協）

◇日本代協雨宮理事挨拶

8月各地で甚大な自然災害が起きていたが、その中でも代理店の存在意義が極めて大きかったりになっていた。皆さんの日々の活動が、私たちの認知度・存在価値を高めてくれることになるので、引き続きしっかりと活動をお願いしたい。

コロナ禍でなかなか集い、語り合い、高め合うことができないが、今後のミーティング、打合せは元に戻らないと思う。むしろ、WEBでの会議が継続していくかたちになると思うので、逆にWEBの強みを活用して代協活動と私たちの仕事の活動につなげていって欲しい。

11月1日からは、金融サービス仲介業が実質的に動くかたちとなる。業界も変わってきているので、代協活動を通じて最新の情報を得ていただき、皆様の活動に結び付けていただきたい。

我々も登録すれば一社で、銀行・保険・証券がひとつの登録でできてしまう極

めて安直な制度。しっかり活用して、すべてはおお客様の利益のため、すべては代理店としてお客様に満足いただくための大きな活動の一つとなると思う。代協活動もコロナ禍で厳しいが、本日は討議をしていただき、下半期の活動の肝にしていきたい。

◇上信越ブロック福嶋会長挨拶

新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるが、「第六波」が懸念され、まだまだ予断を許さない日々が続いている。そのような厳しい状況の中、様々な工夫を凝らしながら代協活動を推進していただき、感謝申し上げます。

今年度の代協活動も半年が過ぎ、いよいよ追い込みの時期となった。日本代協内でも、WEB 活用の有無により、支部/委員会の活動に温度差があるように感じられる。コロナ禍であるからこそ、是非、WEB での委員会を活発に開催していただくとともに、たまには WEB 飲み会なども積極的に行っていただけたらと考えている。

今回も、本日の資料が 13 ページ、会長懇談会 200 ページ、理事会 160 ページ、全部で 370 ページ以上となり、内容も多岐にわたっている。ここにご参加の皆さんは、長野代協のホームページに掲載されているので、是非、資料の確認をお願いしたい。

群馬及び新潟代協さん、「創立 60 周年おめでとうございます。」新潟代協は明日の記念式典開催準備で大変な中、ブロック協議会に参加いただいた。また、群馬代協は、コロナ禍で大変ご苦労されてブロック人材育成計画を作成されているので活発な意見をお願いしたい。

長野代協ではブロック公開セミナーを、中信及び諏訪支部と組織委員が担当し開催する。私達 3 会長と雨宮理事は、昨年 12 月 8 日に開催された全国会長懇談会のセミナーにおいて、『金融庁検査の着眼点』というテーマで、元金融庁の特別検査官である鬼の成島さんの講義を聴き、仲間づくりに最適だと考え、是非、会員の方々にもお聴きいただきたく、この上信越ブロックセミナーを企画した。また保険会社社員にも聴いていただきたいと考え、損保会に後援を依頼し、各保険会社回りのツールにも使用した。後ほど担当副会長より、ブロック公開セミナーの内容と現状を報告する。

最後に、この会議終了後に日本代協より届いた『現状と課題』の P8 の大阪代協の山中会長の「なぜ代協が必要か」を、YouTube で 14 分間流したい。

代協に加入している意義や仲間づくりに役立つ内容が満載なので、是非お聴きいただきたい。

審議事項

1. 人材育成研修会の開催について (群馬代協)

以下の通りの実施内容で研修会を計画し、コロナの感染状況や警戒レベルによる開催可否判断基準・期限を設け、リアル開催か開催が不可能と判断した場合は次年度へ延期とする。

本日審議して頂きたいことは、以下の2点

① 下記内容でリアル開催する

開催日：2022年2月4日(金) 12:30～2月5日(土)12:00 予定

場所：群馬県伊香保温泉地内 旅館 予定

講師：日本代協 各委員会 委員長様 依頼予定 (リモート対応も検討)

開催可否判断 2022年1月20日 (キャンセル料金の発生しないスケジュール)

なお、参加者は、ワクチン2回接種済又は陰性証明書持参とし、開催可否判断としては、群馬県の警戒レベル2以下の場合とする

(リアル開催の必要性)

人材育成研修会は代協活動の指導者の育成を達成するため、研修の深耕、フォローアップや相互交流等が充分に行われる『基本的に1泊2日』で開催することが望ましい。

② 延期の場合は、次年度群馬代協役員にこの研修会を引継ぎ実施する

・次年度予算対応可能と日本代協から回答を得ている。

(提出された意見)

Q. 参加者の条件は、PCR検査の実施に統一すべきではないか

A. 現時点では、ワクチン2回接種済又は陰性証明書持参と考えているが、今後の状況もみて判断したい。

(審議の結果)

① 及び ②とも賛成多数で可決された。

(決定したこと)

今回上程されたことについては承認されたので、群馬代協で詳細な研修事業計画、予算案を作成し、次回ブロック協議会にて審議することとなった。

なお、開催判断基準として、参加者の条件、感染状況等を勘案し、審議決定することも確認された。

報告事項

1. 各県代協の現状と課題報告

(群馬代協 阪本会長)

相変わらずコロナ禍で本来の代協活動は出来ない。昨年度、阪本が地元の市の子ども会育成連合会会長職の職権で依頼した「ぼうさい探検隊」の5団体で、その取組の趣旨でもある行政の首長への報告会もした。今年もその予定だったが学校教育の現場が混乱しているこの状況下では社会教育の依頼は無理であると考えていたが、本日時点で3件できた。

群馬代協60周年記念行事は絶対に我々の執行部の任期の今年度中には必ず行わなければならない。何とか野元専務・粕谷アドバイザーを群馬にお招きし、ハイブリットでも開催したい。

(新潟代協 西会長)

第1回ブロック協議会にて報告した日本代協コンベンション功労者表彰に佐藤勇氏が承認された。昨年の高尾英明氏と一緒に今年表彰される事に成ったので報告する。

金子会長より明日開催の新潟代協60周年祭功労者表彰時にZOOMにて朗読頂く了解は得たので周年祭委員の方におろし可能か決めて頂こうと思う。

(現状報告)

群馬代協は、ぼうさい探検隊クリアと聞いているが、さてこれからという矢先にコロナ感染者急増で、新潟は現在うまく回っていないのが現状である。

・ぼうさい探検隊は見込み先が学級閉鎖等出ている状況下で2名の共同作業がネックになり足踏み状態ではあるが、1件提出済であり、防災意識が高い今だからこそ皆で協力してクリアしたいと思う。今年度は3件をクリアしたい。

「どこを通過して通学しているのかわからなかったのでもいいですね！」なんて意見も有った。

・アカデミーは内容が良くなってきているので活用法を情報提供し、新規加入と10月の更新時にID増を教育委員会陣頭にてアピールする。

・BCPと事業継続力強化計画認定については、新潟代協独自のアンケートを作成し8月25日締切で要請したが、残念ながら回答率が26%で「作成予定なし」の回答も多々有るので、まずは事業継続力強化計画の申請依頼とBCPは簡単作成の雛形を提供し理解を求める方向で進め、11月予定の日本代協正会員実態調査も絡めて対策を検討中。

- ・コンサルティングコースは自然にクリア的な感はあるが、1代理店当たりの最低取得人数をクリアしつつある事とコロナ禍により先延ばしも考えられるので数字の把握を前倒しにして使用人全員取得をアピールする。
- ・仲間づくりは代理店賠償の加入を各保険会社に促し協力を求める、未加入代理店の情報収集を行い会費の改定も活かしアプローチする。
- ・三冠を何で取るのかを見直し、出来ることから実行、その為にも役員委員会のコミュニケーションツールとしてグループラインを日々活用し情報の共有を図る仕組み作りを実行したい。ルールを決めたラインの活用を検討している。
- ・新潟支部で社労士の渡辺会員による社労士診断認証制度のセミナーを9月14日独自開催した。

(長野代協 福嶋会長)

7月に組織委員長と担当副会長と各保険会社の支店長への挨拶廻り、28日に一斉委員会と理事会をリアル開催した。

現在はコロナ禍の中、支部・委員会とも温度差が出ている。

10月29日開催予定の上信越ブロック公開セミナーの実行委員会を中信／諏訪支部／組織委員会を中心に立ち上げ、セミナーチラシと長野代協パンフを持参して各保険会社の支社を訪問し、長野損保会を後援に付け各保険会社経由で未加入代理店に案内して頂くことで、保険会社社員にも参加を促し今後の仲間づくりをしていく。

代協アカデミーは昨年度全会員／全募集人登録を目標に取り組んだが、登録会員の2割程度の使用率に留まっており、10月の更新を控えて理事一丸となりアカデミーの良さをPR中である。

ぼうさい探検隊は各支部担当者が決まり、11/4締切までには実施予定である。BCP、事業継続力強化計画は企画環境委員会でアンケートを取り、日本代協の目標に向かって理事及び各支部役員に働きかけている

東信・北信支部は11月にSDGsのセミナー開催予定である。

北信支部は献血活動を開催、東信支部は10月に新聞広告掲載予定である。

<雨宮理事コメント>

- ・群馬代協のぼうさい探検隊目標達成おめでとう
- ・新潟代協の事業継続力強化の独自アンケート結果はしっかり分析してほしい
- ・SNSのツール活用については、しっかりルール化をしてほしい
- ・長野代協はアカデミーの利用活用の拡大に努力してほしい

2. 各委員会の現状と課題報告

(組織委員会 小井戸委員長)

9/13 上信越ブロックの組織委員会を開催した。

- ・「仲間づくり推進」の現状 9/10 現在
新潟代協2 長野代協0 群馬代協2 ブロック計 4
- ・代理店賠償の推進は、セミナーの開催や代理店賠償ムービーの活用で加入者の増加につなげる
- ・今年度の目標である非会員リスト作成は各県でリスト化が進んできている。更にペースを上げていきたい
- ・支部活動の活性化についてはリモートの活用など駆使した活動を推進していくが、支部の格差があるので対応策を考えていきたい
- ・7/13 「組織委員会全国オリエンテーション」開催され、恩田さん、山口さんが参加した
- ・9/3 日本代協組織委員会が開催された
決定事項は、
 - ・オリエンテーションは来年度も開催する
 - ・今年度も仲間づくりのキャンペーンも実施する (目標設定は各代協)
 - ・来年度の仲間づくりの目標設定基準を改定する 等詳細は、11月開催の組織委員会で決定する。

(教育委員会 古瀬委員長)

- ・日本代協アカデミーの更新に向けての情宣時期となった
先日の全国教育委員セミナーWEB化のオリエンテーション内で新コンテンツ等についても共有できたので、その辺りも含め案内をしていく (「ハザードマップの活用方法」等)
- ・コンサルティングコースセミナーオンライン化に向けて接続方法や様々な問合せが来ると思うが、詳細確定次第共有し受講生からの質問に答えられるよう対応していく
- ・今年度の募集については受講対象者の情報収集や受講目標数を達成できるよう効果的な方法を各県共有していく

(企画環境委員会 神林委員長)

9/27 日本代協の委員会が開催された。

- ・ 共通化・標準化の検討

 - 前回の協議会以降案件なし

 - 東京代協のレポートを共有し、他の事例がないか検討

- ・ 募集実態のモニタリングと対応の実施

 - 前回の協議会以降案件なし

9/27 日本代協の委員会で東海ブロックより以下の報告があった

「トヨタディーラーで不正募集を認める回答があった」

- ・ チャンネル間競争力強化策の検討・提示

 - 事業継続力強化計画認定制度、BCPの実態把握

 - (新潟：済 長野：済 群馬：未?) 目標には到達していない

- ・ 保険 RM が実施される

- ・ 企画環境委員で今年度も「日本代協の現状と課題のサマライズ版」を作成し配布する予定

(CSR 委員会 中澤副会長、桐島委員長は日本代協 CSR 委員会出席の為欠席)

(1) 防災・減災の具体的取り組みの検討・推進

7月27日に全国の県・支部 CSR 委員長対象にオンラインでハザードマップ活用基本ガイド勉強会を開催。

こちらから見れる↓

<https://zoom.us/rec/share/Nb4iYDguzvQ3obVgFPWcrQrCH8VmEzdr>

[OjSrDJR-CauuW-R8Tpah30ArRo9JCdmV.41DmR_zguIG9CfRD](https://zoom.us/j/9123456789?pwd=OjSrDJR-CauuW-R8Tpah30ArRo9JCdmV.41DmR_zguIG9CfRD)

(パスコード: QtyK\$z7R)

今後は各支部 CSR 委員中心に勉強会等で地元会員に広めて、代協会員全員で、お客様（個人、企業）を取り巻く自然災害を事前に把握してもらいリスクの回避（防災）、軽減（減災）、保有（覚悟）、転嫁（保険）の視点で対応策を考えてもらう契機とする。

勉強会はオンライン、リアル、支部役員から徐々広めるなど各支部状況により工夫が必要かと思う。

(2) 無保険車追放キャンペーン

今年度も コロナ禍の状況を踏まえ街頭啓発活動は基本的には行わず（状況が許す地域では例年通り実施することも可）、地域団体（大学の学生課等）・会員

顧客へのノベルティ配布による啓発活動を実施して頂く。

*新潟は大学/専門学校、長野は自動車教習所で実施済

(3) 地震保険啓発普及キャンペーン

毎年、10月23日を統一実施日と設定し街頭啓発活動を行っていたが、昨年度に引き続き今年度も コロナ禍の状況を踏まえ街頭啓発活動は行わず、お客様との日常活動を通じたノベルティ配布による 地震保険の普及率向上を推進。

(4) 「子ども 110 番の保険代理店」の推進

新潟、群馬は通年、長野は9月～10月を募集期間として推進中。

(5) BCPセミナーの開催

昨年度から始まり、今年度末までに全国で取り組む方針。

新潟 (7月28日実施済み)・群馬 (12月2日予定)、長野 (実施済み)

(6) 「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画

実施目標：新潟3 (提出1)、群馬3 (提出3)、長野6 (提出2)

*9月28日現在

随時、各県 CSR 委員長へ進捗状況は共有しているので、11月4日の締切までに目標達成いただきたい。

(7) 各県独自活動

昨年同様コロナ禍で思うように活動できていないのが現状。

<雨宮理事コメント>

第4回理事会報告の中で補足説明を行うので、ここでは割愛する。

3. 日本代協からの連絡・報告

◇雨宮理事より、第4回理事会について以下の点を中心に報告があった。

冒頭、金子会長の挨拶について概要報告があった。

・2021年度功労者表彰は、候補者全員が承認された。当ブロックでは、新潟代協の佐藤 勇氏が表彰される。

- ・日本代協コンベンションは、イベント全体をオンラインで開催する。配信数は、3000人、リアル参加者は総勢40名と最小化した。分科会は11/12、パネルディスカッションは、11/19 オンライン配信される
- ・コンサルティングコースの目標は840店、上信越は47である
- ・リスクマネジメント講座が開講となる
導入セミナーを10月配信予定、低廉な料金で利用できる体制を整えるため、日本リスクマネージャー&コンサルタント協会（RMCA）を活用する
- ・仲間づくりの8月末状況は、入会100店、退会262店で▲162店
- ・7/14に開催された活力研では、6/10の金融庁と業界団体との意見交換会における主な論点について議論した
詳細は、議事録で確認して頂きたい
- ・代理店サポートデスクの相談対応状況は、39件と増加傾向にあるので是非活用願いたい
- ・代理店未来塾（仮称）は10月の理事会で審議、承認されれば、11月スタートの予定である
- ・2022年度の日本代協事業計画に対する提言をお願いしているので、組織論議を経て11/12（金）期限で提出して頂きたい

各項目の詳細は、第4回理事会資料で確認して頂きたい。

◇阪本群馬代協会長より会長懇談会の報告として、以下の取り組みについて報告があった。

3代協とも同一グループでの論議に参加した。

- ・代理店の二極化が進んでいる実態が明らかになった
小規模会員は、BCPのアンケートの結果でも、「計画していない」、「興味もない」との回答である
- ・「顧客本位の業務運営はどこまでやるのか」等、よく考える必要があり、会員への伝達をどうしていくのか課題である

4. その他 （会員からの意見・要望／好取組事例等の紹介）

◆ブロック公開セミナー開催について （長野代協/月岡副会長）

上信越ブロック協議会 公開セミナーを下記にて開催する。

テーマ：「鬼の成島検査官」が語る!! 金融庁検査の着眼点

目的：元金融庁特別検査官である成島氏が経験した検査の最前線から、金融庁がどのような視点で代理店の業務運営や内部管理体制を見てくるの

かを代理店側がしっかり把握し、今後の代理店業務に求められている
姿、あるべき姿を確認し、業界の健全化を図る為

日 時：2021年10月29日（金）

15：00～16：30（14：45から受付）

場 所：zoomウェビナーを利用したオンラインセミナー

講 師：元金融庁特別検査官／日本代協アドバイザー 成島 康宏 氏

申 込：下記 URL またはチラシの QR コードから手続き

定 員：500名（先着順）

【受付 URL】

<https://forms.gle/FthzJXQKvRuEkctj7>

詳細は、公開セミナーチラシ参照

◆その他

<小田島副会長のコメント>

本日はたくさんの情報をこの場で共有できた。

再度資料に目を通し、理解を深めていただきたい。

B C P 策定、事業継続力強化計画、コンサルティングコース等、どんどん課題
と数字が自分のところにやってくるという気持ちがあると思う。

本日の各委員長の話は、とても冷静に伝えているが、皆さんに話すまでには全
国の委員の方々が何時間もかけ、議論している。とても大事に仕組みが作られ
ているので、間違いなく取り組んで、各代理店の力、学びを深める内容だとい
うことを理解して進めて欲しい。

そして、それが数字に結びついていく。

どの委員会も全国を網羅して委員長が委員と交流する場を設けている。

本来の代協が持っている力と熱をどうしたら伝えられるか工夫しているので、
是非受け止め、活動の中にエッセンスとして入れていっていただきたい。

次回協議会開催計画

開催日：2021年12月23日（木） 13：00～

WEB会議（ZOOM）で実施

閉会の言葉 西 新潟代協会長

本日は、非常に盛り沢山でとてもためになった。

若手のパネルディスカッション、リスクマネジメントスタート等、全部やるのは大変だが見地に受け止めて、自分達のプラスになるという見方をしていかなければならない。

会員の方々にも前向きに捉えてもらえるような「実行するスーパーチーム作り」というところを意識して、代協活動をやっていきたいと思う。

会議終了後、

大阪代協の山中会長の「なぜ代協が必要か」を、YouTube で視聴（約15分）